

桐生自然観察の森

里山しごと体験講座（全4回）

森林病害虫シカなどの動物から里山を守ろう！

里山（さとやま）とは、『集落、人里に隣接した結果、人間の影響を受けた生態系が存在する山をいい、深山（みやま）の対義語。』とされています。

里山は、人の手が加えられることで、維持されてきました。そこには、多くの身近な生きものが生息しています。昔、里山は、こどもの遊び場や山菜やキノコなどが採れて、地域に住んでいる人たちのいこいの場でした。しかし、近年の人口減少や少子高齢化に伴い、里山が管理されなくなり、森林病害虫によるナラ枯れやシカやイノシシの侵入による被害が社会問題となっています。里山の管理について病害虫や哺乳類の食害対策について学んでみませんか。

回	日時	テーマ	内容
第1回	5月24日(日) 10:00~15:00	ナラ枯れ、カシノナガキクイムシについて	講義 群馬県林業試験場 技師 北野皓大氏 カシノナガキクイムシについて トラップの設置
第2回	6月28日(日) 10:00~15:00	シカやイノシシの食害について 森の保全、失われた樹木の移植	講義 グリーン・ポリネーターズ合同会社代表社員 樹木医・自然再生士 黒沢秀基氏 シカの食害と里山再生について 苗の移植と防護柵の設置 (カシノナガキクイムシの捕獲観察)
第3回	10月4日(日) 10:00~15:00	防獣柵設置個所の効果と分析 カシノナガキクイムシの捕獲状況	九州大学などによる市民参加型研究プログラム「市民科学で防鹿柵の効果を見える化する」、土壌の化学分析の他、植生調査や飛翔性昆虫の調査など。
第4回	11月29日(日) 10:00~15:00	植物の保全や野鳥の隠れ家とする低木林 の復旧	森林整備作業 防獣柵設置やシカによる皮剥ぎ樹木等への保護 ネット張り

○実施場所：桐生自然観察の森 園内

○持ち物、服装：汚れてもいい格好で、長靴、帽子、タオル、手袋（軍手）、昼食、飲み物等（雨天時：傘、カップ）

◎問い合わせ先：桐生自然観察の森 桐生市川内町 2-902-1 TEL0277-65-6901（火曜休園日）

